



幸樹

こう じゅ

第 83 号

2022 年 2 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館

オミクロン株が急増！

換気 マスク 手洗い

新型コロナウイルス・オミクロン株感染者が急増し、千葉県は1月25日、まん延防止等重点措置を発動しました。オミクロン株はデルタ株に比べ感染力が数倍強く爆発的感染をしています。重症化リスクが高くないと言われていますが、感染者数が多く楽観視できない状況です。

賢く恐れて家庭での感染対策をしましょう。

1. 感染源のウイルスに、近づかない・触れない・持ち込まない・持ちださない

世界の多くの科学者・医学者の研究の結果、新型コロナウイルスの感染拡大の主な経路は、エアロゾルを介した空気感染だということが標準的合意になってきました。したがって、家庭でも職場等でもこまめで定期的な換気が大事です。たとえば、私たちが訪問する場合も、訪問前や後に換気して頂くと良いと思います。空気清浄機も推奨されています。

マスクの着用も効果を発揮しています。遮断効果が高い不織布マスクがお勧めです。

感染源のウイルスや病原菌は、空気感染の他に、血液などの体液の中（汗は除く）や鼻やのどなどの粘膜面、傷ついた皮膚 これらに触れた手指に存在し、接触感染・飛沫感染をします。これらには、手洗いやうがい、除菌消毒が効果的です。これは新型コロナウイルスをはじめあらゆる感染症から自分をまもる基本的な対策です。社会的な対策は「検査・



『街』

絵・高橋 聖大

隔離・治療」が基本ですが、検査ができない、病院・療養施設に入れない、治療薬がたりない、3回目ワクチンが遅れているという事態が進行しています。

2. 栄養・睡眠・運動と健康管理

誰が感染してもおかしくない状況ですが、ウイルスへの抵抗力をつけるためにも、十分な栄養・睡眠をとり、適度に運動で体力を維持しましょう。

体温測定など日頃の健康管理が大切です。体温の異常・熱っぽさ・嘔吐・下痢・皮膚の発疹・咳や痰・のどの痛みなどいつもと違う調子の時は、我慢しないですぐに私たちにご相談ください。

私たちは、毎月定期的に PCR 検査を受け、必要な時には臨時的に PCR 検査を受けています。感染発生時でも「事業継続計画 (BCP)」にもとづき可能な限りケアが提供できるよう努めていきます。

あんず訪問看護ステーション所長 石原 貴子

宮澤絹子さんにお聞きしました

生粋の松戸っ子、鉄工所をささえる

宮澤絹子さんは、昭和14年7月1日生まれの83歳。松戸市で産声をあげてから市内の小学校、中学校を卒業。その後も松戸市内の商業高校に通った生粋の松戸っ子です。実家は大工さんで、8人兄妹のなかで育ちました。

絹子さんは、世話好きで、料理学校に通うほどの勉強熱心な料理好きです。

鉄工所を営むご主人から、

「仕事を一緒に手伝って！」

とのプロポーズを受け、結婚されました。結婚後はご主人と二人三脚で地元根付いた鉄工所として42年間事業を切り盛りしてきました。現在は1人息子さんが4代目として鉄工所を引き継いでいます。

「私の楽しみは仕事！働き者で、仕事が好きだった主人を支えていたの」

食欲旺盛な職人さんたちに、料理好きの絹子さんは野菜たっぷりの手料理をたくさん振舞ったそうです。「それでも足りず、お弁当も追加で頼むのよ」

と、当時の事を楽しそうに話します。

社員の生活全般に気配りと支援

「たくさん家や10階建てのビルを建築する鉄工所の社員が家を持たないなんて、雇っているこちらが情けない」
との思いで、10人ほどの社員全員の家を建てられるようにと社長で職人のご主人と世話好きで経理担当の絹子さんが共に考え社員を支援してきました。特に絹子さんは、経理の担当として社員給料から無理のない範囲での積み立てをアドバイスするだけでなく、仕事以外の相談にも耳を傾け、社員たちの生活全般に気を配り社員のお母さんの存在として鉄工所を支えていました。そのおかげで、社員それぞれのニーズに合った家を持たせてあげることができました。絹子さんが仕事をしてきたことの証であり誇りです。

また、「鉄工所の社長がボロ屋に住んでいては、誰も注文してくれないでしょ。だから自宅は立派な3階建てにしたのよ」と話します。立派な自宅は、今は亡きご主人と一人息子さんの家族に対する優しさが詰まってい

料理好き、仕事好き、お世話好き



ています。

さんしょうリビングに咲くおしゃべりの花

「親の頑張る姿を息子がみるからねえ」

「会社も一緒よ。自分の事だけじゃダメでしょ。自分のこと以上に社員の事を考えて、みんなが幸せになるように考えていたわね」

「息子も大人だから好きなようにしたら良いと思っ
て。あとは、息子の人生よ」

さんしょうのリビングではおしゃべりの花が咲きます。「女はおしゃべりが好きだからね！」とフロアで他の利用者様たちと楽しそうに談笑している絹子さん。時折聞こえてくる話の中には、家族への思いの他、仕事に対する思いや社員への配慮の話があり、私たちにとっても勉強になり学ぶことがあります。

(聞き手・看護師 南雲 朋子)



幸樹会館周辺のつぼみ一杯の梅の木に咲いた一輪

看多機さんしょうの見学研修の感想

千葉健愛会あおぞら診療所で在宅医療研修をされている研修医の方が、さんしょうを見学研修をされ、感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

生活に踏み込んだケアに面白さと難しさが

あおぞら診療所研修医 印南 優衣

訪問看護では子供から大人まで幅広くケアをされておりました。特に医療ケア児の沐浴を体験させていただきましたが、チューブ類の管理やお湯の温度など沐浴するだけでも気を付けなければならないことがたくさんあること、ケアのお手伝いをする事で家族と児の橋渡しをすることが大切であることを学びました。訪問診療よりも、患者さんの生活に一步ふみこんでケアができることは面白い反面、難しいとも感じました。

また、看護小規模多機能型居宅介護施設の見学もさせていただきました。看護、介護サービス、ケアマネジャーへの相談などひとつの施設でたくさんのサービスが受けられることは、患者さんにとっても、医療者にとっても大変便利なことと感じました。ただでさえ移動が難しく、ご家族の負担も大きいなかでこのような施設の果たす役割はとても大きいと思いました。

私は日頃病院で勤務していますが、患者さんが退院した後の生活に目を向けるいい機会となりました。

本日感じたことを今後生かしていけるように頑張ります。ありがとうございました。

初めて看多機を知る有意義な1日

東京医科歯科大学病院研修医2年 山口 純可

恥ずかしながら看護小規模多機能型居宅事業という言葉は最近知りました。実際に訪問看護に同行させていただいた際に、褥瘡のある患者さんに対してベッドマットをもう少し体圧分散させることのできるものに変えた方が良いのではないかとこの案が出ました。さんしょうさんに戻ってからケアプランの見直しや福祉用具の調達などに関して迅速に相談、対応している現場をみて、かんときの素晴らしさを実感したのと同時に、このような事業がもっと各地に展開されたいなと思いました。

また訪問看護や訪問介護の業務についても具体的に学ぶことができ大変有意義な1日となりました。

今後の仕事に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

今月の屋上太陽光発電量は、

761KWh

幸樹会館電力使用量 5959KWh 自給率 12.78%



職員募集！非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

2/15 地域交流カフェ

お菓子をつくろう！

毎年2月の地域交流カフェでは餅つき大会を行っていましたが、今年は感染対策のためご利用者と職員だけで開催します。餅つきも難しいので違う企画を検討してきました。



年末にご利用者と一緒におせち料理を作りましたが、その時の皆さんの生き生きとした姿が印象的でした。

そこで2月15日(火)の交流カフェは、お菓子などもの作りを企画しています。2月はバレンタインデーもあるのでカフェで作ったものを家族などにプレゼントしたら喜んでもらえるのではないかと、考えるだけでワクワクします。制限がある中ですが、少しでも皆さんに楽しんでもらえたらと思います。(介護福祉士 宮田敬子)

看護師のこころ

あんず訪問看護ステーション・看多機さんしょう

看護師 瀬戸 留美子

私が幸樹会に入職して3ヶ月が経ちました。訪問看護師としては13年目になり、3人の子育てもそろそろ卒業します。これからは日々起こる変化の中で、訪問看護師として、信頼される支援者としてはもちろんのことひとりの人間として皆さまと泣いたり笑ったり、その時の気持ちを共有出来たら素敵だなと思います。

うれしさや不安も共有して

あんず訪問看護ステーションでは、主治医の指示のもと看護師がご自宅を訪問し、日々の体調や病状の管理を行い、安心して療養生活を送れるように支援しております。私たち人間は歳を重ねれば重ねるほど、①食べる事、②寝る事、③排泄をすること、この3つが中心の生活になっていきます。

90歳を超えた一人暮らしのある女性は、不調や不自由さを抱えながらも、ご自宅で最期を迎えたいという強い意思をおもちでした。この方は食べることや寝ること排泄すること以上に、人に興味をもち、優しさがあふれ、お洒落にこだわり、毎日着る服を選び、髪を整えて私に挨拶をしてくださいました。私は、安心して住み慣れたお家で食べたい物を食べ、心地よいお布団でぐっすり眠れることを目標にお伝えさせて頂きました。

住み慣れた地域や家庭で日々起こる変化に、多職種のチームで専門家として知恵を出し合い、信頼される支援者のひとりとして、利用者の皆様とその時々うれしい気持ちや不安な気持ちを共有できる存在でありたいと思います。



デンマーク便り...④

ラスムッセン 京子

今回は、急性盲腸炎で入院手術した体験談です。いつも医療従事者として患者さんに接触していますが、今回は患者としてデンマークの医療を体験しました。

昨日 1 月 25 日昼食後、お腹全体に重苦しい痛みがありました。食あたりかなと思いましたが、オミクロン株の影響で病欠者が多く、そのまま仕事を済ませました。いつも自転車で帰宅するのですが、バスで帰宅しました。そして、床に就いていましたが、痛みはだんだん「右下腹部に集中、熱もでてきました。

盲腸炎で入院しました

もしかしたら、盲腸炎かな、それとも憩室炎かな？痛みが激しくなり、とうとう我慢できずにデンマークの救急コールセンター「1813 番」に連絡しました。午前 2 時 27 分の事です。症状を話し、「入院したほうが良いですね」という事で、30 分後の午前 3 時 3 分に救急



入院中、病室の京子さん

車がきて病院へ向かいました。本来、救急車は 20 分以内に到着することになっています。救急隊員が血圧、血液の酸素含有率などを測り、症状の経過状況、慢性疾患の有無、アレルギーなどについて聞かれました。

病院に到着すると、受付の医師が症状は既に伝えられているので必要であると思われる検査種類を注文し、看護婦さんが採血し、検査に回しました。コロナウイルス PCR 検査、心電図などもとられました。

検査結果が出てから医師の診察を受けました。痛みの程度を聞かれ「1~10 までの段階で 10 が一番痛いとするとどの程度」と聞かれたので「6~7 でしょう」と答えると「少し待つことに成りますが、大丈夫ですね」と言われ、2 時間待ちました。

5 時 10 分に診察があり、CT の検査をしました。私はヨード系の造影剤のアレルギーがあり、その防止に即効性のある副腎皮質ホルモンの静脈注射を 30 分前にする必要があつて、少し CT が遅れました。

という事で、わが放射線科に CT を撮りに行ったのは午前 6 時 55 分でした。その日当直をしていた同僚がびっくり。一緒に単純盲腸炎という診断をして、でも激しい炎症と大腸の一部が炎症に巻き込まれていて、「これはかなり痛いでしょう」と言われました。盲腸の直径

も 1.8cm とかなり膨らんでいることもあり、緊急に手術をしたほうが破裂を避けられるという事でした。

その後、麻酔科の医師の間診を受けました。私は女性には珍しい血友病なので、一応輸血がすぐできるように、凝結作用を促す cyclocarpon というものも準備して頂きました。手術室に 11 時 2 分に到着、麻酔を受けて手術。内視鏡の手術は何の問題もなく終わり 14 時ごろ目を覚ましました。

今夜一晩入院し、明日は退院します。デンマークでは自分で痛みの度合いを判断し、その判断で診断してくれる医師によって次の処置の順番が決まります。ですから、もっと 8~9 とか高い痛みと判断したら、もう少し早く進んだと思います。



1 月 26 日、幸樹会全体で防災訓練をおこないました。全職員が参加対象で、正しい 2 方向避難の方法と実際に水消火器を使った初期消火の方法を訓練しました。避難訓練では、幸樹会館は 1 階 2 階ともに東側と西側に 1 方向ずつ避難経路があります。出火場所を想定し、どちらの方向に避難すればよいか判断できるよう基本的な訓練をおこないました。

水消火器の使い方では実際に消火器を使い、模擬の火を消す動作まで訓練しました。箒で履くように、地面に水を当てながら消火するのがコツで、思い切りがないとなかなか模擬の火は倒れません。幸樹会の職員はみんな思い切りもよく、しっかり初期消火ができていました。

今後も防災意識をしっかりと持ち、利用者、職員の安全を守るよう、幸樹会全体で防火防災に取り組んでいきたいと思ひます。 (本部・防火管理者 中野夏希)

八柱学習会

○1 月 2 月は中止です。

▼次回学習会予定 (「定例日：毎月第 3 金曜日」)
3 月 18 日 (金) 18:30~、幸樹会館 2 階
「地域ケアの変遷と未来-

1975~2020 の時代体験と実践から語る⑥」

お話・武井幸穂氏

《参加自由》